

平成30年度第2次上尾市図書館サービス計画の進捗状況について

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度の実施状況	29年度の実施状況	30年度の実績・今後の方向性	進捗状況 (H31.3現在)	
生涯学習の拠点としての図書館	生涯学習を支える図書館	(1)資料の提供 ①収集・整備	・資料収集	・「収集方針」の適宜改訂 ・本館・分館(室)それぞれの役割や地域性に応じた資料の整備 ・計画的な資料収集による蔵書冊数の増加 【平成32年度の数値目標】 ・蔵書冊数 606千冊 ・図書館資料費 35,986千円 ・人口一人当たりの図書館資料費 160円	・収集方針(平成26年1月策定)の見直し点を検討 本館・分館(室)同時選書を行い同一資料の複数購入を極力減らし、タイトル多数確保を目指した。 【実績】 ・蔵書冊数 567千冊 ・図書館資料費 33,694千円 ・人口一人当たりの図書館資料費 150円	・引き続き、収集方針(平成26年1月策定)の見直し点を検討 ・収集方針に基づき、本館・分館(室)の集中選書を行い、本館・分館(室)の役割に応じた選書を実施 ・分館(室)は、地域の特性を考慮した配架に努めた。 ・同一資料の複数購入を極力減らし、多様な資料を導入できるよう努めた。 【実績】 ・蔵書冊数 562千冊 ・図書館資料費 35,021千円 ・人口一人当たりの図書館資料費 153円	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 蔵書冊数 567千冊 図書館資料費 35,047千円 人口一人当たりの図書館資料費 153円 【今後の方向性】 →収集方針の改訂ポイントを整理する。 →蔵書の適正量と分類バランスを見極める。	進行中
			・資料保存	・「除籍基準」の改訂 ・新図書館開架書架に特別開架資料を含むすべての保存資料収蔵	・除籍基準の検討 ・来年度以降、複合施設事業の中で検討	・引き続き、除籍基準の検討 ・汚損・破損資料の買替えを実施 ・新図書館開架収蔵については、計画見直しのため、今後検討	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →除籍基準の改訂ポイントをリスト化する。	検討中
			・資料組織化	・NDC10版の採用 ・書誌データ量が多く、検索性に優れ、また安価なMARCの採用 ・資料を探しやすい請求記号や図書記号の採用	・日本十進分類表10版採用及び当館分類桁数等の変更は新図書館システム導入時(平成31年度)を行う。 ・新たなMARC及び図書記号等の採用は検討中	・平成30年2月に日本十進分類表10版に変更済 ・新たなMARC及び図書記号等の採用は検討中	【実績】 ・新たなMARC及び図書記号等の採用を検討。	進行中(一部達成)
			・寄贈	・寄贈本の有効活用	・寄贈資料を図書館資料とした。受入れしなかった寄贈書はリサイクル事業で市民に無料頒布した。	・寄贈資料を図書館資料とした。受入れしなかった寄贈書はリサイクル本として市民に無料頒布した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間中での維持・充実を図る。	達成(継続)
	②貸出	・貸出(図書)	・人口一人当たりの貸出冊数の増加(数値目標⑨参照) ・資料の新規購入・更新による蔵書新鮮度の維持 ・新規利用者の獲得(数値目標⑩参照) 【平成32年度の数値目標】 ・貸出冊数 1,327千冊 ・新規登録者数 5,070人	・人口一人当たりの貸出冊数の増加 ・資料の新規購入・更新による蔵書新鮮度の維持 ・新規利用者の獲得 【実績】 貸出冊数 1,262,705冊 人口1人当たり貸出 5.91冊 新規登録者数 3,630人	・人口一人当たりの貸出冊数の増加 ・資料の新規購入・更新による蔵書新鮮度の維持 ・新規利用者の獲得 【実績】 貸出冊数 1,217,427冊 人口1人当たり貸出 5.33冊 新規登録者数 4,625人	【実績】 ・図書の新規受入17,128冊を行った。(蔵書全体の3%) 実績値 貸出冊数 1,220,545冊 人口1人当たり貸出 5.34冊 新規登録者数 4,066人 【今後の方向性】 →総タイトル数の増に向け寄贈募集の可能性も整理していく。 →サービスポイントの設置を検討する。	進行中	
		・貸出(雑誌)	・雑誌タイトル数の増加(数値目標⑤参照) 【平成32年度の数値目標】 ・雑誌タイトル数 253冊	・雑誌タイトル数 198冊	・雑誌タイトル数 200冊	【実績】 実績値 雑誌タイトル数 185冊 【今後の方向性】 →最適なタイトル数を整理する。	検討中	
		・貸出(視聴覚資料)	・音楽配信サービスの導入	・音楽配信サービス「ナクソス」の提供を平成28年6月から開始 【実績】 ログイン回数 2,442回 (拡大) ・県立図書館の視聴覚資料を相互貸借により借受可とした。	・音楽配信サービスの運用 【実績】 ログイン回数 3,810回 (継続) ・引き続き、県立図書館の視聴覚資料を相互貸借を行う。	【実績】 ・実施内容(音楽配信サービス「ナクソスミュージックライブラリー」)を継続中。 実績値 ログイン回数 1,227回 通算利用時間 2,410時間 【今後の方向性】 →経過観察を行い、効果进行评估していく。	達成(済)	
		・貸出(視聴覚機材・器具)	・評価の高い映像作品など、団体貸出用視聴覚教材の計画的収集	・貸出機材(プロジェクター)を1台から3台に増加 ・上尾市図書館ホームページに視聴覚機材の専用ページを開設	・団体貸出のマニュアルを新たに作成 ・団体貸出用視聴覚資料を新たに4本購入	【実績】 ・団体貸出用視聴覚資料を新たに3本購入。 【今後の方向性】 →計画的に購入し、作品の充実を図る。	進行中	
		・非来館者への貸出	・図書館資料の郵送貸出(有料)実施	・平成27年9月から身障手帳1～3級、要介護度3～5度、特養等施設入所者に宅配サービスを実施	・郵送貸出の検討 ・宅配サービスについては継続中	【実績】 ・宅配サービスについて継続中。郵送貸出は検討のみ。 【今後の方向性】 →郵送貸出(有料)実施における課題を整理する。	検討中	
		③閲覧	・閲覧用資料	・新聞タイトル数の増加(数値目標⑥参照) 【平成32年度の数値目標】 ・新聞購読数 30紙	・瓦葺分館の購読数増加 【実績】 新聞購読数 20紙	・平方分館、原市公民館図書室、大谷公民館図書室の購読数増加 【実績】 新聞購読数 23紙(他寄贈7紙)	【実績】 ・分館(室)の対応について検討を行った。 実績値 新聞購読数 23紙(その他寄贈7紙) 【今後の方向性】 →たちばな分館、上平公民館図書室の対応を検討する。	進行中
			・閲覧スペース	・閲覧スペースの設置・拡充による居心地の良い読書環境を提供できるよう検討	・新図書館複合施設整備事業の中で継続的な検討を行っている。	・新図書館複合施設整備事業で検討していたが、計画が一時中止となったため、進捗なし。	【実績】 ・現在の利用状況や面積等を考慮し、実施が可能な館(室)について個別に検討を進めた。 【今後の方向性】 →たちばな分館のレイアウト変更に伴うリニューアル工事を実施し、居心地の良い読書環境を提供する。	進行中
	・閲覧用備品		・必要性の高い閲覧用備品の分館(室)への導入	・読書補助用具(リーディング・トラッカー)を全館に置いた。 ・分館(室)展示用にブックラックを購入した。	・分館(室)への閲覧用備品の導入の検討	【実績】 ・購入実績なし。 【今後の方向性】 →たちばな分館のレイアウト変更結果を参考に、備品を精査する。	進行中	

平成30年度第2次上尾市図書館サービス計画の進捗状況について

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度の実施状況	29年度の実施状況	30年度の実績・今後の方向性	進捗状況 (H31.3現在)	
生涯学習の拠点としての図書館	生涯学習を支える図書館	③閲覧	・データベースの活用 ・必要性の高い有償・無償データベースの整備、図書・雑誌とデジタル情報を兼ね合わせた資料・情報の提供	・「官報情報検索サービス」、朝日新聞オンラインデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル・フォーライブラリー」、日本経済新聞オンラインデータベース「日経テレコム21」、国立国会図書館デジタルコレクション「歴史的音源」については提供済み。 ・国立国会図書館デジタルコレクション「デジタル資料送信サービス」及び音楽配信サービス「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」の提供開始し、図書館ホームページ、館内掲示及び「みんなの図書館」で掲載しPRをした。	・引き続き、「官報情報検索サービス」、朝日新聞オンラインデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル・フォーライブラリー」、日本経済新聞オンラインデータベース「日経テレコム21」、国立国会図書館デジタルコレクション「歴史的音源」、国立国会図書館デジタルコレクション「デジタル資料送信サービス」及び音楽配信サービス「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」を提供 【実績】 ・ナクソスミュージックライブラリー ログイン回数3,810回 通算利用時間1,827時間 ・デジタル化資料送信サービス 閲覧回数315回 複写回数187回	【実績】 ・「官報情報検索サービス」や「日経テレコム21」外3タイトルのデータベースのほか、音楽配信サービス「ナクソスミュージックライブラリー」を提供した。 実績値 デジタル化資料送信サービス 閲覧回数151回 複写回数532回 【今後の方向性】 ・実績が減少傾向にあり、効果的なPRや利用講座の開催等を検討する。	進行中（一部達成）	
		④予約・リクエスト	・予約（市内に所蔵がある資料への予約）	・効率的な方法による予約本取り置き連絡実施 【実績】 ・予約件数 209千件	・効率的な方法による予約本取り置き等の検討 【実績】 予約件数 207,819件	・効率的な方法による予約本取り置き等の検討 【実績】 予約件数 205,373件	【実績】 ・予約本取り置きの方法について検討した。 実績値 予約件数 213,805件 【今後の方向性】 →効率的な方法について調査を進める。	進行中
		④予約・リクエスト	・リクエスト（購入希望）	・未所蔵資料のホームページからのリクエスト受け付け実施	・新規購入・相互貸借等により、リクエストの95%以上を提供している。	・ホームページからのリクエスト対応については検討中 ・既存のリクエストカードの仕様を変更した。	【実績】 ・ホームページからのリクエスト対応については検討した。 【今後の方向性】 →実施手順を整理する。	検討中
		④予約・リクエスト	・督促	・メールなどの活用による督促業務量と費用の削減	・メール登録者にはメールによる督促を実施、業務量と郵送料を軽減した。	・引き続き、メール登録者にはメールによる督促を実施、業務量と郵送料を軽減した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間中での維持・充実を図る。	達成（継続）
		⑤複写サービス	・複写サービス	・複写サービス、著作権についての分かりやすい案内の実施 ・職員の著作権知識の向上	・著作権研修に参加した。	・複写サービス、著作権についてのわかりやすい案内の検討 ・著作権研修に参加し、研修報告を職員間に回覧することで知識共有を行った。	【実績】 ・複写サービスについての案内を作成した。 ・著作権研修に参加。研修内容を職員間で共有した。 【今後の方向性】 →引き続き知識の習得と共有を進める。	達成（継続）
		⑤複写サービス	・郵送複写サービス	・郵送複写サービスの情報提供、資料・情報検索に関する職員の知識・技術の向上	・国立国会図書館・大学図書館の利用方法、所蔵資料の郵送複写サービスについて図書館ホームページに掲載した。	・郵送複写サービスの情報提供、資料・情報検索に関する職員の知識・技術の向上の検討 ・引き続き、国立国会図書館・大学図書館の利用方法、所蔵資料の郵送複写サービスについて図書館ホームページに掲載	【実績】 ・国立国会図書館・大学図書館の利用方法、所蔵資料の郵送複写サービスについて図書館ホームページに掲載している。 【今後の方向性】 →職員の知識・技能向上に向け効果的な手法を検討する。	達成（継続）
	生活上の諸課題解決のための図書館	⑥電子書籍	・電子書籍の提供	・電子書籍提供の検討	・関連業者から電子書籍についてのプレゼンを受けた。	・電子書籍提供については検討中	【実績】 ・他市町村の状況調査、各社のサービス比較、見積徴取を行った。 【今後の方向性】 →平成31年1月1日現在、電子書籍を提供しているのは86自治体である。今後も利用者ニーズと他自治体の動向を把握しながら、検討を継続する。	検討中
		(1)レファレンスサービス ①当館でのレファレンスサービス	・レファレンスサービスのPR	・資料の所蔵調査、質問・回答サービスなどの周知	・レファレンスデスクを来館者に目立つ表示に変更した。 ・ホームページのレファレンスサービスのページを更新、当館の主な参考図書リスト、信頼できるインターネット情報源、調べものに役立つサイトを掲載した。	・引き続き、ホームページのレファレンスサービスのページを更新、当館の主な参考図書リスト、信頼できるインターネット情報源、調べものに役立つサイトを掲載	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成（継続）
			・レファレンスブックの収集と提供	・調べものに役立つレファレンスブックの収集、自然科学系は、データベースを含めて最新の情報検索が可能な資料・情報の整備	・127冊のレファレンスブックを収集した。	・154冊のレファレンスブックを収集した。	【実績】 ・232冊のレファレンスブックを収集した。 【今後の方向性】 →最新の情報の取得に努め、資料を充実していく。	進行中
			・多様なレファレンス申し込み	・来館・電話に加え、FAX、ホームページなど多様な方法によるレファレンスサービスの受付 【実績】 ・平成32年度の数値目標 レファレンス件数 14,600件	平成28年5月に図書館ホームページにメール・FAXによるレファレンスの案内を掲載した。 【実績】 レファレンス件数11,204件（市内全館 棚案内含）	・引き続き、来館・電話・FAX・メールによる多様な方法によるレファレンス、迅速な棚案内に努めた。 【実績】 レファレンス件数 11,312件（市内全館 棚案内含）	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 レファレンス件数 11,865件（市内全館 棚案内含） 【今後の方向性】 →目標達成に向け、方策ごとに効果を見極めていく。	進行中
			・レファレンス協同データベース	・「レファレンス協同データベース」への参加、上尾市に関する事例は同データベースから一般公開	・「レファレンス協同データベース」に参加し、当館の事例を多数登録、企画協力員賞を受賞した。	・引き続き、「レファレンス協同データベース」に参加し、活用中	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成（継続）
			・職員のスキルアップ	・外部研修・館内研修によるレファレンスの知識・技術の向上・共有化	・県立図書館、図書館協会、国会図書館主催の研修に参加した。	・県立図書館、図書館協会、国会図書館主催の研修に参加した。	【実績】 ・内部研修の実施、事例の共有等の検討を行った。 【今後の方向性】 →外部研修への職員派遣を行っていく。	進行中
②紹介サービス	・類縁機関の紹介	・類縁機関に関するホームページコンテンツの作成 ・近隣の類縁機関一覧などのリーフレットを作成・提供	・類縁機関リンク集をホームページ上に作成した。	・類縁機関リンク集をホームページ上に作成した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →リーフレットの作成を進めていく。	進行中（一部達成）		
	・紹介状の発行	・紹介状の利用に関する情報を発信	・大学図書館の利用の際の紹介状発行についてホームページ上に記載した。	・大学図書館の利用の際の紹介状発行についてホームページ上に記載した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →経過観察を行い、効果を評価していく。	達成（済）		
		・展示・特集コーナーの設置	・社会の動きに対応したテーマ展示の実施	・戦後70年をテーマに年間展示を実施した。	・干支、明治150年等をテーマに年間展示を実施した。	【実績】 ・2か月ごとに、健康や芸術、平成等、時期に合わせた展示を行った。 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成（継続）	

平成30年度第2次上尾市図書館サービス計画の進捗状況について

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度の実施状況	29年度の実施状況	30年度の実績・今後の方向性	進捗状況(H31.3現在)	
生活上の諸課題解決のための図書館	③読書相談	・新着情報サービスの提供	・SDIサービスなど利用者への新着図書情報の速やかな提供	・ホームページから新着図書情報を提供している。	・ホームページから毎週、新着図書資料の紹介を行っている。視聴覚資料においてはおすすめ資料ページを作成し掲載している。 ・SDIサービスは進捗なし。	【実績】 ・ホームページで視聴覚資料についても新着資料の紹介を行った。 【今後の方向性】 →SDIサービス導入のメリット・デメリットを整理する。	進行中(一部達成)	
		・情報へのアクセス・活用方法(情報リテラシー)	・資料の使い方・調べ方案内などのパンフレット配布やホームページでの案内などを通じた、利用者の情報リテラシーの向上	・「リサーチナビ」(国会図書館)についてホームページ及び図書館広報誌に掲載した。	・利用者の情報リテラシーの向上の検討 ・「リサーチナビ」(国会図書館)についてホームページ及び図書館広報誌に掲載した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →レファレンスとの連携強化を図っていく。	進行中(一部達成)	
		・ブックリストの提供	・いろいろなテーマのブックリストを、リーフレットやホームページなどから提供	・「よんでごらん」「この絵本のたのしいよ」「Next Generation」を発行した。	・いろいろなテーマのブックリストの提供の検討 ・引き続き、「よんでごらん」「この絵本のたのしいよ」「Next Generation」を発行	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →ブックリストの多方面展開を検討する。	進行中(一部達成)	
		・パスファインダーの作成・公開	・主要テーマの調べ方案内の公開・提供	・「レファレンス共同データベース」へのリンクを貼った。	・引き続き、「レファレンス共同データベース」へのリンクを行っている。 ・パスファインダーの提供に向けた検討の一つとして、上尾市に関する調べものに役立つよう、職員間で内部資料の情報共有を行った。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →ホームページで、当館所蔵のテーマ別参考図書リストを公開する。	進行中	
	④課題別支援サービスの提供	・ビジネス支援サービス	・ビジネス支援に関わる資料収集、情報発信 ・商工関連部署や商工会議所と連携し、ビジネスセミナー開催や地元産業等に関する情報発信の実施	・ビジネス関連資料を収集した。ビジネスセミナーや情報発信はできていない。 ・「レファレンス共同データベース」へのリンクを貼った。 ・駅前分館の活用	・資料収集のひとつとしてビジネス関連資料を収集した。 ・ビジネスセミナーや情報発信はできていない。 ・引き続き、「レファレンス共同データベース」へのリンクを行っている。 ・引き続き、駅前分館の活用	【実績】 ・資料収集のひとつとしてビジネス関連資料を収集し、駅前分館を中心に配架することでビジネス支援サービスの充実を図った。 ・引き続き、「レファレンス共同データベース」へのリンクを行った。 【今後の方向性】 →駅前分館の活用を検討。	進行中	
		・法律・医療・健康情報提供サービス	・法律情報、医療・健康情報について十分な資料の収集、最新の資料・情報を提供	・法律・医療・健康関連資料を収集した。	・引き続き、医療・健康関連資料を収集した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →県立図書館で行われているサービス活用を検討する。	進行中	
	④課題別支援サービスの提供	・子育て支援サービス	・乳幼児とその親を対象にした事業の継続実施、親同士の情報交換の場の提供 ・子育て支援コーナーを設置・拡充し、同コーナーの周知を進め多様な情報の収集・提供 ・乳幼児の泣き声などを、気にせず利用できるようなコーナーの配置、「赤ちゃんタイム」の導入など運営面での配慮	・赤ちゃんとおはなしの機会をもってもらうため赤ちゃんおはなし会を月1回実施した(参加者平均15組)。	・赤ちゃんとおはなしの機会をもってもらうため赤ちゃんおはなし会を月1回実施し、平均12組の親子が参加した。(参加者265人) ・乳幼児の泣き声などを気にせず利用できるコーナーの配置、「赤ちゃんタイム」の導入など運営面での配慮を行った。	【実績】 ・赤ちゃんおはなし会を月1回実施した。 実績値 参加者366人(平均183組参加) 【今後の方向性】 →乳幼児の泣き声などを気にせず利用できるコーナーの配置や「赤ちゃんタイム」の導入の可能性を検討する。	進行中(一部達成)	
		・多様な学習機会の提供	・本館・分館で年間を通して講座や講演会、体験型イベントの開催による参加者数増加(数値目標⑤参照) ・学習機会とその発表の場の提供 【平成32年度の数値目標】 ・一般向け行事参加者数 1,500人	・文学講座、リフォーム、痴呆症予防など幼児からシニア世代まで体験型イベント、講座・講演会を開催した。	・学習機会とその発表の場の提供として、カスパシアター(人形劇)や文学講座、大人のためのおはなし会など幼児からシニア世代まで対応した体験型イベント、講座を開催した。 ・図書館行事(図書館まつり)参加者数260人(延人数) ・学習会とその発表の場の提供については、検討中	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 図書館行事(図書館まつり)参加者数 673人(延人数) 【今後の方向性】 →学習会とその発表の場の提供について検討していく。	進行中	
	地域の情報拠点としての図書館	①郷土資料の収集・提供	・郷土資料の収集・保存・提供	・上尾市・埼玉県に関する資料・情報収集	・上尾市を中心に埼玉県に関する資料の収集を行った。 ・上尾市資料の棚に表示をつけて内容ごとに分類した。	・引き続き、上尾市を中心に埼玉県に関する資料の収集を行った。 【実績】 郷土資料受入冊数 115冊(行政資料を除く)	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 郷土資料受入冊数(行政資料除く) 74冊 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成(継続)
			・郷土に関するデジタル資料の作成・公開	・上尾市に関する郷土資料の電子資料化及び公開	・主な進捗なし。	・上尾市に関する郷土資料の電子資料化の検討 ・新図書館複合施設、郷土資料コーナーの検討	【実績】 ・実施に必要となる備品等の予算化を行った。 【今後の方向性】 →資料化について実施に向けて着手する。	進行中
		②行政資料の収集・提供	・行政資料の収集・保存・提供	・上尾市や埼玉県が発行した行政資料の収集・提供	・上尾市を中心に埼玉県に関する資料の収集を行った。	・上尾市を中心に埼玉県に関する資料の収集を行った。 【実績】 郷土資料受入冊数 138冊(行政資料)	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 郷土資料受入冊数(行政資料) 122冊 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成(継続)
			・地域の団体・グループなどからの情報収集	・地域の団体・グループとの情報交換やそれらの活動に関する資料収集 ・団体やグループの活動や地域情報についてのリーフレット、冊子の配置場所を工夫し、利用者に分かりやすく提供する。	・上尾市、埼玉県内の観光パンフレットを収集した。 ・地域の団体・グループのちらし・ポスターを収集し、展示・提供している。	・上尾市、埼玉県内に関するパンフレットを収集した。 ・地域の団体・グループのちらし・ポスターを収集し、展示・提供した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →利用者に分かりやすい配置や手法を検討する。	進行中(一部達成)
・図書館イメージの確立	・図書館サービスについて周知を進めて、貸出・返却だけでなく、調べもの、学習室利用、イベント参加など、さまざまな目的の図書館利用者の増加を図る。	・「イベントカレンダー」「集会室カレンダー」をホームページ上に掲載し毎月更新している。	・引き続き、「イベントカレンダー」「集会室カレンダー」をホームページ上で毎月更新し、さまざまな目的の図書館利用者の増加を図った。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →ちびばな分館の事例を検証し、横展開を図る。SNS等も活用する。	進行中			

平成30年度第2次上尾市図書館サービス計画の進捗状況について

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度の実施状況	29年度の実施状況	30年度の実績・今後の方向性	進捗状況(H31.3現在)	
生涯学習の拠点としての図書館	地域の情報拠点としての図書館	(2)図書館からの情報発信 ①広報活動の充実	・図書館サービス・イベントの周知	・図書館ホームページやSNSからの図書館サービスやイベントについて情報提供 ・地域との連携による図書館イベントの効果的なPRの実施	・「みんなの図書館」、ホームページ、ツイッター等で各種イベントを周知した。	・イベント開催に向けてツイッターに詳細を記載して告知した。 ・ホームページ内の集客室利用状況などに月毎に行われるイベントを紹介した。	【実績】 ・図書館ホームページやSNSで図書館サービス等について情報発信。 【今後の方向性】 →市民アンケート結果を参考に効果的な対応を検討する。	進行中
			・図書館だよりなどの発行	・「みんなの図書館」「こどもしつだより」「Next Generation」などバックナンバーを含めてホームページに掲載	・「みんなの図書館」「こどもしつだより」「Next Generation」などを発行し、バックナンバーを含めてホームページに掲載した。	・「みんなの図書館」「こどもしつだより」「Next Generation」などを発行し、バックナンバーを含めてホームページに掲載した。 ・その他「よんでごらん」「あっぱいぶつくる絵本リスト」も追加掲載した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →経過観察を行い、効果を評価していく。	達成(済)
		②ホームページからの情報提供	・ホームページのコンテンツ	・図書館サービスのホームページからの積極的な情報発信 【平成32年度の数値目標】 ・ホームページアクセス数 301千件	・「こどものページ」「歴史サービス」「視聴覚サービス」「施設サービス」「イベントカレンダー」「集客室カレンダー」などのページを新設した。 【実績】 ホームページアクセス数 257千件	・図書リサイクル等のイベントの実施を「図書館からのお知らせ」としてホームページに掲載した。 【実績】 ホームページアクセス数 220千件	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 ホームページアクセス数 199千件 【今後の方向性】 →ホームページアクセス数の増加策を検討する。	進行中
			・有用なサイトなどのリンク集の作成・公開	・内容の充実したリンク集を掲載	・埼玉県内公共図書館等横断検索システムなど有用サイトのリンクを増やした。	・内容の充実したリンク集を掲載することを検討 ・ソーシャルメディアへのリンクに子どもの読書活動推進動画ページへのサイトを掲載した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →他市の実態を調査し、内容の充実を図る。	進行中(一部達成)
社会・時代の変化に応えられる図書館	高齢社会における図書館	(1)居場所としての図書館づくり	・「居場所」としての図書館づくり	・退職後の「居場所」として、読書やライフワークの調査研究などが快適にできる空間の提供	・新図書館複合施設での実現を目指し、実施設計の中で検討している。	・新図書館複合施設市民会議を開催し、意見や要望を聴取した。 (計画が一時中止となった)	【実績】 ・新図書館複合施設計画が見直しになり、次期計画での立案に向けて準備を進めた。 【今後の方向性】 →現在の利用状況や面積等を考慮し、実施が可能な館(室)については、個別に検討を進める。 →たちばな分館のレイアウト変更に伴うリニューアル工事を実施し、様々な利用者を想定した居場所を提供する。	検討中
			・交流の場の提供	・新図書館で市民の交流の場となる環境づくりを検討を提供	・新図書館複合施設での実現を目指し、実施設計の中で検討している。	・新図書館複合施設市民会議を開催し、意見や要望を聴取 (計画が一時中止となった)	【実績】 ・新図書館複合施設計画が見直しになり、次期計画での立案に向けて準備を進めた。 【今後の方向性】 →現在の利用状況や面積等を考慮し、実施が可能な館(室)については、個別に検討を進める。 →たちばな分館のレイアウト変更に伴うリニューアル工事を実施し、様々な利用者を想定した居場所を提供する。	検討中
			・経験を生かせる場の提供	・新図書館で経験を活かせるしくみづくりを検討生かせる場を提供	・主な進捗なし。来年度以降、複合施設事業の中で検討する。	・新図書館複合施設市民会議を開催し、意見や要望を聴取 (計画が一時中止となった)	【実績】 ・新図書館複合施設計画が見直しになり、次期計画での立案に向けて準備を進めた。 【今後の方向性】 →新図書館複合施設計画が見直しになり、次期計画での立案に向けて準備を進める。	検討中
	(2)シニアサービスの提供	・シニアを対象にした資料・情報の収集・提供	・一部分館(室)へのシニア向け資料・情報コーナーの設置 ・福祉部局や保健部局と連携した、保健・医療・年金などの関係機関の発行する冊子・パンフレットなどの収集・提供	・セカンドライフコーナー向けに、シニア向け図書を収集した。 ・健康福祉部局や県民活動センターと連携し保健・医療・年金などの冊子・チラシを収集・提供した。	・分館(室)へのシニア向け資料・情報コーナーの設置の検討 ・セカンドライフコーナー向けに、シニア向け図書を収集した。 ・健康福祉部局や県民活動センターと連携し保健・医療・年金などの冊子・チラシを収集・提供した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →本館及び大石分館のセカンドライフコーナーの充実を図る。 →他部署との連携し、関係機関の冊子・パンフレットの収集・提供を強化する。	進行中(一部達成)	
		・利用を支援する機器・設備	・ユニバーサルデザインに基づくOPACの設置	・利用者が使いやすいユニバーサルデザインに配慮したOPACに変更した。	・蔵書点検において、所蔵場所が変わった資料についてOPACで図面の追加記載を行った。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →たちばな分館リニューアルに伴い、館内検索機(OPAC)内の排架図の修正を行う。	達成(継続)	
		・「大人向け映画会」や「お話し会」などのイベントの開催	・バリアフリー映画会の実施 ・読書会などシニア向けイベントの実施	・平成29年度に開催予定のバリアフリー映画会に向けて情報収集し、準備を進めた。 ・「土曜映画会」を2回開催した。 ・「大人のためのお話し会」を2回開催した。	・バリアフリー映画会を1回開催した。 ・「土曜映画会」を3回開催した。 ・「大人のためのお話し会」を2回開催した。 ・更に充実を検討	【実績】 ・土曜映画会、大人のためのお話し会を開催した。 実績値 土曜映画会 3回 大人のためのお話し会 1回 【今後の方向性】 →バリアフリー映画会を継続的に実施する方法を検討する。	進行中	
少子化社会における図書館	(1)子どもの読書活動の推進 ①図書館でサービス	・図書館資料の充実	・基本図書や調べものに必要な知識の本、利用者からの需要が多い読み物などを備えた、利用者の要望に合致する魅力ある蔵書の整備	・最新の出版された本を中心に読物や調べ学習に役立つ資料を収集した。	・基本図書や調べものの学習の資料については、雑誌「学校図書館」を参考に収集した。 ・利用者から需要が多い読み物などについては、ブックフェアに参加し、直接本を見て、資料を収集した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →基本図書や調べものの学習の資料については、雑誌「学校図書館」を参考に収集する。 →利用者から需要が多い読み物などについては、ブックフェアに参加し、直接本を見て、資料を収集する。	達成(継続)	
	②乳幼児サービス・児童サービス	施設・設備	・お話し会などの催しに良好な環境を整備 ・授乳、おむつ替えなどに良好な環境を整備	・展示や掲示物を明るい色合いにし、ポップを工夫するなど、入りやすいフロア環境になるよう努めた。	・お話し会などの催し、授乳、おむつ替えなどに良好な環境整備の検討 ・展示や掲示物を明るい色合いにし、ポップを工夫するなど、入りやすいフロア環境になるよう努めた。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →ハード面の参考となる資料調査を行う。	進行中(一部達成)	

平成30年度第2次上尾市図書館サービス計画の進捗状況について

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度の実施状況	29年度の実施状況	30年度の実績・今後の方向性	進捗状況(H31.3現在)	
社会・時代の变化に応えられる図書館	少子化社会における図書館	1) 子どもの読書活動の推進 ①図書館でサービス ア. 乳幼児サービス・児童サービス	・子どもが図書館に来るきっかけになる事業の充実	・おはなし会や絵本の時間などを市内全館で実施している。 ・本館・分館公民館図書室で小学生を対象に図書館見学を実施している。 【実績】 ・おはなし会 321回 2,426人 ・あかちゃんおはなし会 10回 333人 ・絵本の時間 119回 1,032人	・引き続き、おはなし会や絵本の時間などを市内全館で実施している。 ・引き続き、本館・分館公民館図書室で小学生を対象に図書館見学を実施している。 【実績】 ・おはなし会 329回 2,101人 ・あかちゃんおはなし会 11回 265人 ・絵本の時間 119回 1,089人	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 おはなし会 280回 1,803人 あかちゃんおはなし会 11回 366人 絵本の時間 103回 724人 【今後の方向性】 →参加者の増加策を検討し、実施していく。	進行中	
			・ブックスタート事業	・配布率を100%にする。乳幼児期から、絵本を通しての親子のふれあいの定着に努める。 【実績】 4か月健診参加者に対しては、全員に配布済(1,611人)	・引き続き、ブックスタート事業として4か月健診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを渡している。 ・引き続き、配布時に読み聞かせを行っている。 【実績】 4か月健診参加者に対しては、全員に配布済(1,531人)	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 配布人数 1,481人(4か月健診参加者全員) 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実に努める。	達成(継続)	
			・セカンドブックスタート事業	・読書パスポートの小学校の授業や読書への活用、子どもの読書の推進 ・読書パスポートを核にした「家庭・地域・学校」の連携強化	・市内小学1年生対象(私学含む)に読書パスポートを交付した(1,913人)。 ・本に親しみきっかけづくりとして読書パスポートコンクールを開催し、市内全22校が参加し、137人教育長名で表彰した。	・市内小学1年生対象(私学含む)に読書パスポートを交付した(1,826人)。 ・本に親しみきっかけづくりとして読書パスポートコンクールを開催し、市内全22校が参加し、137人教育長名で表彰した。 ・更に充実に検討	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 読書パスポートコンクール参加 市内全22小学校 教育長名表彰者 138人 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実に努める。	達成(継続)
			・年齢層に合わせた絵本図書リストの作成	・リストの作成、配布と同時に、ホームページ上に掲載されたリストから検索・予約システムの整備 ・本選びの参考になる児童書情報の発信 ・市民が図書リストをもとに子どもの成長にあった本選びができる環境の整備	・「こどもしつだより」テーマ設定にあたり、テーマが前年度と重ならないよう配慮し、年4回発行した。 ・児童担当おすすめ本を集めた「よんでごらん」を発行した。	・リストの作成、配布と同時に、ホームページ上に掲載されたリストから検索・予約システムの整備の検討 ・「こどもしつだより」テーマ設定にあたり、テーマが前年度と重ならないよう配慮し、年4回発行した。 ・児童担当おすすめ本を集めた「よんでごらん」を発行した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 こどもしつだより発行 4回 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実に努める。	達成(継続)
			・団体貸出	・周知を図り、保育所、学童、児童文庫などの利用増につなげる 【実績】 延40校、993冊	・市内小・中学校に対し、授業の参考教材用資料として団体貸出を行った。 【実績】 延43校、976冊 ・保育所等の団体貸出の増加に向けて、周知の方法を検討する。	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 貸出数 延べ33校 526冊 【今後の方向性】 →活用方法の理解を深められるような周知を心がけていく。	進行中	
			・図書館の利用に障害のある子供へのサービス	・児童・生徒・保護者の求めに応じて音声デジ資料などの提供	・点字や触れる絵本や、日本語を母語としない子供でもわかりやすいよう絵を多用したくらしの本を導入した(蔵書数72冊)。	・点字や触れる絵本や、日本語を母語としない子供でもわかりやすいように絵を多用したくらしの本を導入した(蔵書数96冊)。 ・利用者(保護者)の求めに応じて、マルチメディアデジの紹介を行った(1件)。	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 蔵書数 96冊 【今後の方向性】 →音声デジ資料についての対応を整理する。	進行中(一部達成)
			・学校支援	・市内の小中学校の利用の増加 【実績】 延21校	・本館・分館(室)において、市内小学校の図書館見学の受入を実施し、小学校2年生を対象に図書館の使い方などを説明した。 【実績】 延15校	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 延べ 16校 【今後の方向性】 →利用校の増加に向けて実施可能な手法を整理する。	進行中	
	イ. 青少年(YY)サービス	・図書館資料の充実と青少年(YY)コーナーの充実	・青少年世代のための本、雑誌、新聞、パンフレットなどの収集・提供 ・青少年世代の意見やアイデアを様々な形で取り入れたパスファインダー・ブックリストの提供 ・高額な資料の計画的収集	・新しく出版された本や、ここ数年の間に出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した。 【実績】 青少年蔵書数 14,976冊	・新しく出版された本や、ここ数年の間に出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した。 ・Next Generation特大号として、前年度受け入れた本のテーマ別の紹介や、人気本のランキングを掲載した。 ・パスファインダー・ブックリストについては検討中 【実績】 青少年蔵書数 14,407冊	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 青少年蔵書数 14,360冊 【今後の方向性】 →パスファインダーブックリストについて検討を進める。	進行中(一部達成)	
		・中高生の職業体験の受入れ	・受入れできる学校数の増加	・市内中学校の社会体験事業の受入(4回、計12名)及び高校生のインターンシップの受入(1回、2名)を実施した。	・市内中学校の社会体験事業の受入(1回、3名)を実施した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 社会体験事業の受入 2回 6名 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実に努める。	達成(継続)	
		・図書館広報紙などの共同作成	・イラスト・本の感想・おすすめ本の投稿など利用者と協力した広報紙の作成	・本館青少年コーナーの投稿箱に投稿された本の紹介文を本館で展示、保存している。 ・中高生と協力した情報誌作成については未実施。	・利用者と協力した広報紙の作成の検討 ・引き続き、本館青少年コーナーの投稿箱に投稿された本の紹介文を本館で展示、保存している。 ・中高生と協力した情報誌作成については未実施。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →中高生と協力した情報誌作成の実施に向け課題等を整理する。	進行中	
	・青少年向けイベントの開催	・ブックトークなどを通じて、図書館に対する青少年世代の認知度を向上 ・自分のできる形で図書館と関われる青少年世代の増加を図り、図書館と青少年世代の可能性を向上	・ブックトークについては未実施。ブックトークに関する研修に職員2人が参加した。	・ブックトークについては未実施 ・青少年世代については今後検討	【実績】 ・検討のみ。 【今後の方向性】 →ブックトークの実施について課題を整理する。 →青少年世代の増加について先行事例を調査する。	検討中		

平成30年度第2次上尾市図書館サービス計画の進捗状況について

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度の実施状況	29年度の実施状況	30年度の実績・今後の方向性	進捗状況 (H31.3現在)	
社会・時代の変化に応えられる図書館	少子化社会における図書館	②子どもの読書活動支援センター	・関連部署・学校・地域との連携	・各連絡会を開催し、問題点を解決				進行中
		ア. 家庭・地域・学校の連携コーディネート	・読書推進のための調査・研究	・上尾市の子どもの読書傾向について、家庭・地域・学校が把握し、読書推進の指針として活用できるよう、調査・研究結果を公開				進行中
			・家庭・地域・学校への情報発信	・広報・フェイスブック・ツイッターの読者の増加				進行中
		イ. 家庭への支援	・子どもを取りまく大人への事業	・講座や講演会の内容をもとに、さらに子どもの読書活動の推進				進行中
			・子どもを本好きにするための児童・青少年向けの事業	・小・中学校で、読み聞かせや読書活動推進事業を実施				進行中
			・出張おはなし会	・出張おはなし会に多くの子どもたちが参加し、その場で本を借りられるシステムの整備 ・借りた本を返すために図書館に来院することをきっかけとした、図書館を利用する子供たちの増加	子どもの読書活動支援センターに関する項目は「第2次子どもの読書プラン 平成28年度実施状況」参照	子どもの読書活動支援センターに関する項目は「第2次子どもの読書プラン 平成29年度実施状況」参照	子どもの読書活動支援センターに関する項目は「第2次子どもの読書プラン 平成30年度実施状況」参照	進行中
		ウ. 地域への支援	・ボランティアの育成・支援	・さまざまなジャンルの読み聞かせボランティアが活発に活動できるような仕組みづくり ・ボランティア連絡会の開催による、相互の交流や意見交換の実施。				進行中
		エ. 学校への支援	・小中学校向け図書セットの貸出し	・図書館の本が学校図書館で有効に使われ、多くの子どもたちが図書館の豊富で魅力ある資料にふれられるような環境の整備				進行中
			・小学校授業・朝読書などでの読書推進	・学校での読み聞かせボランティアによるおはなし会の活発な開催				進行中
			・学校応援団読み聞かせ初心者講座	・学校応援団などのレベルアップを図り、児童がさらに読み聞かせを楽しめるような講座の実施				進行中
	多様な利用者ニーズに応える図書館	(1) 図書館の利用に障害のある人へのサービス	・情報発信	・障害者サービスや、収集・作成した障害者用資料について情報の発信と周知	・市域の保健福祉部局、デイサービス事業所、ケアマネージャー他に障害者サービスのちらし等を設置・配布しているが、十分に情報を発信できていない。	・ホームページや館内掲示、「障害者相談支援のしおり」等でサービスのPRを行った。 ・引き続き、検討する。	【実績】 ・「やまびこジャーナル」でサービスの周知を行った。 【今後の方向性】 →ホームページや館内掲示、「障害者相談支援のしおり」等でサービスのPRを行っていく。 →「みんなの図書館」に、音訳活動についての記事を掲載し、対面朗読サービスの紹介を行っていく。	進行中
		① 図書館資料	・サービス対象者の拡大	・録音資料の来館及び宅配などによる貸出	・身体障害者手帳所持者から活字読書が困難な人、来館が困難な人へサービス対象者を拡大した。 【実績】 録音図書貸出点数 1,397点 宅配図書貸出点数 114点	・録音資料の貸出を、郵送(12名715タイトル)、来館(1名8タイトル)、宅配(1名7タイトル)行った。 【実績】 録音図書貸出点数 1,415点 図書貸出点数(宅配) 256点	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 郵送 14人 1,153点 宅配 1人 46点 録音図書貸出数 1,199点 宅配図書貸出数 211点 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実に努める。	達成(継続)
		② 図書館サービス	・障害の特性に合わせた資料サービス提供	・他館からの借受や収集により障害児・者用資料を提供 ・「対面朗読サービス」の定着 ・初級及び中級音訳者養成講座を数年の間隔をあけて実施し音訳者養成の継続 ・年3タイトルを目標に図書館協力員による録音資料の制作 ・コミュニケーション・ツールなどを用いてコミュニケーションに障害のある人や日本語を母語としない人とのカウンターでの意思疎通の向上	・平成27年度初級、平成28年度中級音訳者用瀬講座を実施し、図書館音訳者19人(職員3人を含む)を養成した。 ・録音資料製作を開始した。 ・朗読ボランティアによる対面朗読をやめて、図書館音訳者によるサービスに変更した。	・図書館による対面朗読サービスは定着(実利用3名、計80回)。 ・音訳についてフォローアップ講座を実施(13人 12回) ・デジター編集講座を実施し、デジター製作ノウハウを習得した音訳者を育成(6人 5回) ・デジター資料3点を製作中である。(平成30年5月31日発行予定) ・カウンターに筆談用の道具を設置している。 ・コミュニケーションに障害のある人の意思疎通については、検討中	【実績】 ・対面朗読サービスを実施した。 ・デジター資料を作成した。 実績値 対面朗読サービス回数 78回(実利用2人) デジター資料作成数 1点 【今後の方向性】 →コミュニケーション障害への対応について整理する。	進行中(一部達成)
・読み書き支援サービス			・読み書き支援サービスについて、図書館の業務としての方針を決定	・読み書き支援サービスについては、図書館サービスではなく福祉的サービスとの考えから対面朗読の対象としないこととした。	・読み書き支援サービスについては、図書館サービスではなく福祉的サービスとの考えから対面朗読の対象としないこととした。	【実績】 ・平成29年度に方針決定済み。 【今後の方向性】 →他の支援サービスについては引き続き検討していく。	達成(済)	
② 図書館サービス	・来館できない人へのサービス	・宅配サービスの拡大 ・ゆうパック・ゆうメール(着払い)による有料郵送サービスの実施	・7名に対し114タイトルの宅配貸出を実施した。 ・対象者の拡大は行っていない。 ・録音資料や宅配サービス等障害者サービスについて、電話・FAX・メールなどからの利用申込みを可とした。 ・委任状による利用カード発行、並びに図書館資料貸出を実施している。	・8名に対し256タイトルの宅配貸出を実施した。 ・対象者の拡大は行っていない。 ・宅配協力員等運営体制及び有料郵送サービスについての検討は未実施。	【実績】 ・宅配貸出を実施。 実績値 貸出数 8人 229タイトル 【今後の方向性】 →対象拡大と有料郵送サービスについて実施の是非を整理する。	進行中		

平成30年度第2次上尾市図書館サービス計画の進捗状況について

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度の実施状況	29年度の実施状況	30年度の実績・今後の方向性	進捗状況 (H31.3現在)		
社会・時代の变化に応えられる図書館	多様な利用者ニーズに応える図書館	③施設サービス	・団体貸出	・高齢者施設などへの団体貸出と図書館ボランティアによる読み聞かせなどの施設サービスの実施	・利用施設数 2施設 ・市内の高齢者施設、児童自立支援施設への団体貸出を実施している。 ・市内高齢介護施設や居宅介護支援事業所にちらし・ポスターなどを送付し、施設への団体貸出と障害者サービスのPRを実施した。	・利用施設数 2施設 ・市内の高齢者施設、児童自立支援施設への団体貸出を実施している。 ・読み聞かせなどの施設サービスは検討していない。	【実績】 ・施設への定期配達サービスは職員数の問題から終了し、施設からのリクエストに合わせて資料を選び、最寄りの図書館で貸出を行えるように見直しを行った。 【今後の方向性】 →計画期間での状況把握に努める。	見直し	
			・リクエストサービス	・施設入所者の求めに応じて視聴覚資料を含む図書館資料を提供	・市内高齢介護施設入所者を宅配サービス対象者に加えた。施設入所者の求めに応じて視聴覚資料を含む図書館資料を提供している。	・市内高齢介護施設入所者を宅配サービス対象者に加えているが、利用者は少ない。 ・PRを検討する。	【実績】 ・市内リハビリ施設入所者の求めに応じて、宅配サービスの利用認定を行った。(1件) 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成(継続)	
		④多文化サービス	・多言語資料の収集・提供	・多言語の資料数の計画的な増加	・児童・青少年向けの主に英語資料を所蔵している(蔵書冊数929冊)。	・多言語の資料数の計画的な増加の検討 ・児童・青少年向けの主に英語資料を所蔵している(蔵書冊数929冊)。	・多言語の資料数の計画的な増加の検討 ・児童・青少年向けの主に英語資料を所蔵している(蔵書冊数929冊)。	【実績】 実績値 児童・青少年向けの主に英語資料蔵書冊数 926冊 【今後の方向性】 →バランスに配慮した資料収集に努める。	進行中
			・子どもへのサービス	・英語を中心に外国語の児童書収集の検討	・児童・青少年向けの主に英語資料を所蔵している(蔵書冊数929冊)。	・多言語の資料数の計画的な増加の検討 ・児童・青少年向けの主に英語資料を所蔵している(蔵書冊数929冊)。	・多言語の資料数の計画的な増加の検討 ・児童・青少年向けの主に英語資料を所蔵している(蔵書冊数929冊)。	【実績】 実績値 児童・青少年向けの主に英語資料蔵書冊数 926冊 【今後の方向性】 →バランスに配慮した資料収集に努める。	進行中
			・生活情報の提供	・上尾市や埼玉県に関する多言語情報を提供	・主な進捗なし。	・6か国語の県立図書館の利用案内及び4か国語の市政情報紙(ハローコーナーニュース)を排架している	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成(継続)	
・利用案内	・4か国語の利用案内を通常の利用案内に合わせて、適宜に更新 ・ホームページ、OPACの多言語対応(英語・中国語・韓国語など)	・4か国語の利用案内を提供している。	・4か国語の利用案内を提供している。 ・OPACの多言語対応は未実施	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →OPACの多言語対応について整理、判断していく。	進行中(一部達成)				
サービス網を拡充する図書館	新図書館、本館、分館、公民館図書室	新図書館と本館	・本館・分館(室)の現状を踏まえ、課題の解消とサービスの拡充を検討 ・新図書館を建設し、本館機能を移転して、開架書架の拡充や閲覧席の充実、身体の不自由な人、乳幼児連れの人など、多くの人々が利用しやすい施設づくりを推進 ・現本館の移転後については、上尾地区の図書館機能が低下するため、何らかの機能補完を実施	・新図書館複合施設整備事業の中で継続的な検討を行っている。	・新図書館複合施設建設工事に着手した(※平成29年11月6日工事一時中止)。 ・現本館の1階部分に分館を設置することについて利用者アンケートを実施した。 ・現本館建物のリニューアルに関し、関係部署(教育センター、生涯学習課)と協議	【実績】 ・新図書館複合施設計画が見直しになり、次期計画での立案に向けて検討した。 【今後の方向性】 →今後の計画の基礎資料とするため、無作為抽出による市民3,000人を対象にした図書館アンケートを実施し、今後の図書館本館・分館(室)の在り方を検討する。	検討中		
			・分館の現状と課題	・分館(室)の改修による、施設の長寿化とバリアフリー化の実施 ・新刊資料提供方法の工夫などにより、魅力ある書架を提供	・瓦葺分館女子トイレの修繕に伴い、和式から洋式へ交換した。 ・平方分館・たちばな分館の外部表示を手作りし、わかりやすい表示にした。 ・古い資料の多い公民館図書室3館の資料費を増額し、新刊を増やした。	・施設の長寿化とバリアフリー化の実施の検討 ・公民館図書室に新たなブックラックを配置した。 ・原市公民館図書室のブックポストにクッションを設置し、事故・怪我の防止を図った。 ・瓦葺・平方分館の照明設備の修繕を行った。	【実績】 ・各館の現状把握に努め検討した結果、瓦葺分館屋根の改修を行った。 【今後の方向性】 →たちばな分館のレイアウト変更に伴うリニューアル工事を実施予定。 →図書館本館・分館(室)の在り方について検討を進める。	進行中	
	図書館ネットワークの拡充	(1)相互貸借	・県内の公共図書館などの相互貸借	・相互貸借制度の周知を図り、未所蔵資料のリクエスト及び提供数を増加する。 【実績】 相互貸借 借受資料点数 4,886点	・引き続き、相互貸借利用により未所蔵リクエストの迅速な提供に努めた。 ・県内未所蔵の専門資料については県立図書館に購入を依頼し、提供に努めた。 【実績】 相互貸借 借受資料点数 4,767点	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 相互貸借借受資料点数 4,962点 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	進行中		
			・国会・県外からの借用	・サービスの周知を進めて利用者への浸透を推進 ・国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」の提供	・「デジタル化資料送信サービス」の提供を開始した(閲覧数212)。 ・国会図書館及び県外図書館資料借用についてホームページに掲載し、利用者へ情報提供した。	・「デジタル化資料送信サービス」等を広報あげおに掲載しPRに努めた(閲覧数315)。 ・国会図書館及び県外図書館資料借用についてホームページに掲載し、利用者へ情報提供した。 ・県外借用依頼冊数22冊	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 デジタル化送信資料サービス閲覧数 151件 県外借用依頼冊数 17冊 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成(継続)	
		・近隣大学図書館との連携	・大学図書館との相互利用協定による、利用者が求める専門資料の提供	・県立大学、埼玉大学との相互貸借を実施、専門資料を借受し提供している。 (借受数 17冊)	・県立大学、埼玉大学との相互貸借を実施、専門資料を借受し提供している。 (借受数 5冊)	【実績】 ・実施内容を継続中。 実績値 借受冊数 5冊 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成(継続)		
(2)広域利用	・広域利用	・利用状況を把握し、広域利用拡大を検討	・さいたま市・伊奈町・蓮田市・桶川市との広域利用を実施 ・川越市民の当館利用希望が一件あるのみで、広域利用拡大については検討中	・引き続き、さいたま市・伊奈町・蓮田市・桶川市との広域利用を実施 ・広域利用拡大について検討中	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →広域利用の拡大の有効性と対応の是非について整理する。	検討中			
(3)サービスポイントの設置	・サービスポイントの設置	・既存の公共施設窓口を活用した、予約本の受取りと資料返却サービスの実施について検討する。 ・ニューシャトル線の駅などへのブックポストの設置について検討する。	・今後、検討する。	・既存の公共施設窓口を活用した、予約本の受取りと資料返却サービスの実施について検討した。 ・ニューシャトル線の駅などへのブックポストの設置について今後検討する。	【実績】 ・他市町村のサービスポイント設置状況を調査し、費用対効果や課題等を検討した。 ・ニューシャトル線の駅などへのブックポストの設置について、立地条件や需要予測を調査し、費用対効果を検討した。 【今後の方向性】 →市内ショッピングモールへのサービスポイントの設置について、検討を進める。	進行中			

平成30年度第2次上尾市図書館サービス計画の進捗状況について

基本方針	中項目	サービス計画項目	32年度最終目標	28年度の実施状況	29年度の実施状況	30年度の実績・今後の方向性	進捗状況 (H31.3現在)	
サービス網を拡充する図書館	図書館ネットワークの拡充	(4)開館日及び開館時間の効果的な設定	・開館日・開館時間	・市民ニーズに応じた開館日・開館時間を設定	・新図書館複合施設市民会議を開催し、意見や要望を聴取した。 ・新図書館複合施設の建設と合わせ、分館等の開館時間の延長を検討した。	【実績】 ・平成31年度から、平方分館及びたちばな分館、並びに3箇所の公民館図書室の火曜日から金曜日の開館時間を午後1時30分から午前10時に変更することとした。 【今後の方向性】 →平成31年度の変更の着実な実施。 →本館の開館日・開館時間の効果的設定については、各種アンケートで利用者の意向を徴収するとともに検討を継続する。	進行中(一部達成)	
		市民との連携、市民との協働	(1)市民参画と協働	・市民参画	・ホームページ、図書館へのひと言、適宜に実施する利用者アンケートなどから利用者・市民の意見を募集して、それらに対する図書館からの回答を含めて公表	・「図書館へのひとこと」については、年間73件の要望等に対し、回答 ・内容内訳:改善事例 6件、参考意見 67件、合計 73件 ・受付館内訳:本館 46件、駅前分館 3件、大石分館 8件、瓦葺分館 11件、平方分館 1件、たちばな分館 1件、上平公民館図書室 0件、原市公民館図書室 1件、大谷公民館図書室 1件、不明 1件	・「図書館へのひとこと」については、年間73件の要望等に対し、回答 ・内容内訳:改善事例 6件、参考意見 67件、合計 73件 ・受付館内訳:本館 46件、駅前分館 3件、大石分館 8件、瓦葺分館 11件、平方分館 1件、たちばな分館 1件、上平公民館図書室 0件、原市公民館図書室 1件、大谷公民館図書室 1件、不明 1件	【実績】 ・「図書館へのひとこと」の対応を行った。 実績値 年間要望等件数 76件 回答数 76件(改善事例25件、参考意見 46件) 受付館 本館61件(メール含む)、駅前4件、大石4件、瓦葺2件、平方1件、たちばな1件、上平1件、原市1件、大谷1件 【今後の方向性】 →「図書館へのひとこと」は、館内掲示を四半期程度を目安に行う。 →利用者アンケートを実施に向け中身を検討していく。
・市民協働	・ボランティアルームの設置によるボランティアの会議、作業スペースの確保 ・地域で活動するボランティアや市民団体との連携強化		・図書館ボランティア、読み聞かせボランティア、図書館音訳者等、図書館に関わる市民は増加している。	・ボランティアルームの設置は、新図書館複合施設内を検討しているが、一時中止 ・図書館ボランティア、読み聞かせボランティア、図書館音訳者等と図書館との連携に努めた。 (図書館ボランティア 18名、読み聞かせボランティア 49名、図書館音訳者14名)	【実績】 ・図書館ボランティア、読み聞かせボランティア、図書館音訳者等と図書館との連携に努めた。 実績値 図書館ボランティア 18名 読み聞かせボランティア 41名 図書館音訳者 14名 【今後の方向性】 →各ボランティアとの連携強化に努める。	進行中		
(2)地域との連携	・地域との連携		・地域の文庫との共催事業の実施	・地域の文庫との共催事業の実施について検討	・引き続き、地域の文庫との共催事業の実施について検討	【実績】 ・実施について検討した。 【今後の方向性】 →共催事業について実施に向けて課題を整理する。	検討中	
	・書店、専門家団体、NPOや福祉関係団体などとの連携		・図書館内で行政書士、司法書士などの専門家団体による相談会を実施、図書館は、相談会に合わせて図書館資料の展示を行う。 ・図書館を活用してNPOや福祉関係団体の主催事業や図書館との共催事業を実施	・書店、専門家団体、NPOや福祉関係団体などとの連携について検討	・引き続き、書店、専門家団体、NPOや福祉関係団体などとの連携について検討	【実績】 ・実施について検討した。 【今後の方向性】 →共催事業について実施に向けて課題を整理する。	検討中	
(3)図書館協議会	・委員構成		・公募委員を含めた委員構成への移行推進	・公募委員なし。	・公募委員なし。	【実績】 他市町村の委員構成を調査し、公募に向けた課題を検討した。 【今後の方向性】 →現任の図書館協議会委員の任期は令和3年7月31日までとなっており、令和3年度の改選に合わせて公募委員を任命できるよう検討を進める。	検討中	
	・開かれた協議会		・審議内容などについて情報公開の実施	・審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開とした。	・審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開とした。	【実績】 ・審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開とした。 ・図書館Webサイトでの周知し、第2回会議は10名の傍聴者があった。 ・審議内容や当日の資料を図書館Webサイトで公開した。 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間中での維持・充実を図る。	達成(継続)	
望ましい図書館運営体制	(1)図書館運営体制		・図書館運営体制	・十分な議論を経て決定した方法に基づいた図書館運営の実施	・新図書館における管理運営方法について、図書館協議会に諮問し、答申を受けた。	・新図書館における管理運営方法について、図書館協議会に諮問し、答申を受けた。	【実績】 ・図書館協議会での答申を受け、サービス向上と効率化の両立するため、カウンター業務委託の内容を見直した。 【今後の方向性】 →サービス向上と効率化の両立を目指し、検討を継続する。	進行中
			・職員研修	・継続的な研修の参加と職場への還元	・県立図書館、国会図書館主催研修に参加した。	・県立図書館、国会図書館主催研修に参加した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →各種研修に参加し、職員の資質向上を目指す。	進行中
	(2)開かれた図書館運営		・図書館の運営・サービス状況の公開	・「図書館要覧」、図書館ホームページなどから図書館の運営・サービスに関する必要な情報の公開	・「図書館要覧」をホームページ上に公開した。	・「図書館要覧」をホームページ上に公開した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →対応を継続し、計画期間での維持・充実を図る。	達成(継続)
			・諸規則・基準などの公開	・誰もが確認できるように図書館の規則・基準の公開	・「図書館規則」をホームページ上に公開した。	・「図書館規則」をホームページ上に公開した。	【実績】 ・実施内容を継続中。 【今後の方向性】 →要覧等に掲載の無い基準についての公開も検討する。	進行中(一部達成)
	(3)図書館における資金調達	・雑誌スポンサー制度の拡充	・雑誌スポンサーを確保・拡充 ・図書館資料費を外部から調達するため、継続的に努力	【実績】 ・雑誌スポンサー企業数を4社から5社へ増やした。 ・スポンサー企業から300,000円分の寄贈	【実績】 ・雑誌スポンサー企業数は4社 ・スポンサー企業から240,000円分の寄贈	【実績】 ・スポンサー企業を募るパンフレットを作成し、商工課及び一部商業施設に設置した。 実績値 雑誌スポンサー企業数 3社(昨年比1社減) スポンサー企業寄贈額 143,000円分 【今後の方向性】 →拡充については、対策を検討していく。	進行中(一部達成)	